

令和2年(2020年)1月30日(木曜日)

腰切不動尊で例祭
 清掃作業や読経
 GW三島
 三島市の腰切不動尊
 で29日、例祭が開かれ、
 管理するNPO法人グ
 ラウンドワーク三島の



関係者が清掃作業と読経などを執り行った。腰切不動尊は、1633年に腰から上だけの状態で発見されたと伝わる石仏がまつられている。地元の田町ではかつて「田町のお不動さん」として親しまれ、戦後間もないころまでは大祭に大勢の住民が足を運んだという。その後、管理が行き届かずのみ堂や近くの井戸が廃れ、1999年から同NPOが受け継いで管理を続けている。腰から下の病氣やけがの治癒、安産などに御利益があるとされる。例祭では関係者が清掃した後、供物と読経をささげ、地域の文化財を継承する思いを新たに示した。

読経をささげる関係者。三島市の腰切不動尊